

平成30年度における就労準備支援事業の取組

昨年度からの課題	今年度の取組計画
<p>◎就労準備支援事業の利用に向けた支援について</p>	<p>◎自立までのステップアップにかなりの時間を要するため、社会資源の活用を図り、きめ細かな支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『阪神南障がい者就業・生活支援センター』と協働で面接練習を実施する。</li> <li>・『ひょうご発達障害者支援センター「クローバー」芦屋ランチ』との連携を強める。</li> <li>・阪神南障がい者就業・生活支援センターと協働で実施の“就労グループセッション”に加え、在職者交流活動“就労サロン”も実施する。</li> <li>・対象者のニーズに応じて、多種多様な支援メニューに取り組む。</li> </ul>
<p>◎潜在的な対象者の把握について</p>	<p>◎総合相談窓口のみならず、関係機関との連携を強め、潜在的な対象者の把握に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立相談支援事業への関わりをさらに積極的に行い、連携を強める。 (定例支援調整会議・事例検討会への参加。)</li> <li>・自立相談支援事業の就労支援に初期の段階から関与する。</li> <li>・『阪神南障がい者就業・生活支援センター』への就労相談のうち、障がい者手帳を所持していない相談者への支援に積極的に関わる。</li> <li>・就労準備支援事業の支援メニューの周知を図る。 (支援メニューの一覧を作成、丁寧な説明を行う。)</li> <li>・総合相談連絡会の機関紹介で、就労準備支援事業の紹介を行う。</li> </ul>
<p>◎社会的孤立等の状態にある人への支援について</p>	<p>◎ひきこもり状態の人を支援するにあたっては、継続的な個別支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者相談センター『アサガオ』の親の会とも連携を強化する。</li> <li>・訪問支援（アウトリーチ）等による早期からの継続的な個別支援を実施する。</li> </ul>